

2. 学年教育目標

(1) 学年目標

- 1年生…「自分の思っていることを相手に分かるように言葉で伝え、友達と協力し、生き生きと活動する。」
- 2年生…「相手の気持ちを考えて行動し、友達と仲よく、最後まであきらめずに活動する。」
- 3年生…「相手の話を最後まで聞き意欲的に考え、友達と協力して、粘り強く活動に取り組む。」
- 4年生…「友達との関わりを大切にし、共に学び合い、粘り強く活動に取り組む。」
- 5年生…「心身共にたくましく、共に学び合い、豊かな人間性を身につける。」
- 6年生…「心身共にたくましく、粘り強く考え、共によりよいくらしを「そうぞう」する。」

(2) 具体的取組

○1年生

- ・幼児期の経験を生かし、挨拶や整理整頓等、基本的な生活習慣を身に着けるようにする。
- ・帰りの会などで、今日のよかったところを発表する機会を設け、一日の出来事を言葉で伝えられるようにする。
- ・学校生活で、友達のよいところを見つけられる機会をたくさん設け、互いを認め合えるようにする。
- ・子供たちが知らなかった話題や教材を用いて興味や意欲をもたせたり、思考する時間を十分にとったりして、考えや疑問がもてるようにする。

○2年生

- ・自分から進んで、気持ちのよい挨拶や返事ができるようにする。
- ・時刻や周りの状況を見て、何をすべきかを考えて行動できるようにする。
- ・帰りの会などで友達のよいところを発表する機会を設け、互いのよさに気づき、認め合えるようにする。
- ・日直や給食当番、係活動などを通して、自分のやるべき仕事を最後までやり遂げるようにする。

- ・自分の考えをもち、進んで人に伝えようとすることができるようにする。

○3年生

- ・気持ちのよい挨拶や返事、時・場・相手に応じた言葉遣いができるようにする。
- ・先生や友達の話最後まで聞き、自分の考えを表現できるようにする。
- ・互いのよさや自分のよさに気づき、それらを共有する活動を通して、誰に対しても思いやりをもって接しようとするようにする。
- ・達成感や成就感を味わえる活動の場を設定し、自分がやるべき学習や仕事を最後までやり遂げることができるようにする。

○4年生

- ・気持ちのよい挨拶や返事、時・場・相手に応じた言葉遣いができるようにする。
- ・友達と協力して取り組む場を多く設定し、お互いのよさや個性を認め合えるようにする。
- ・個々の力に応じた目標をもてるように支援し、その達成に向けて粘り強く取り組めるようにする。
- ・基礎基本の定着を図り、友達と考えを交し合いながら課題解決に取り組む中で仲間と共に高め合い、楽しさや自己肯定感を味わえるようにする。

○5年生

- ・気持ちのよい挨拶や返事、時・場・相手に応じた言葉遣いができるようにする。
- ・家庭との連携をもちながら、規則正しい生活習慣づくりに努める。
- ・相手のよさや、苦手なことを認め合い、自他を大切にする豊かな人間関係を築けるようにする。
- ・相手意識をもち、話し、聞き、広げ、深め合う学習の場の設定に努める。
- ・間違いを恐れず、失敗を次に生かす力を伸ばせるような学級経営に努め、個々が自己肯定感を高められるようにする。

○6年生

- ・異学年合同での体育を通じて学習環境を豊かにし、共に運動することの楽しさを実感できるよう工夫し指導する。
- ・計画的に体験活動や学校生活との関連を図り、道徳教育を充実させる。
- ・総合的な学習の時間を中心に体験基盤型の学習を計画し、その中で適度な困難さの課題と出合わせ、粘り強く考え、乗り越えた達成感を味わわせる。
- ・学級間、異学年・学校外（社会）との「つながり」を意図的・計画的に設定し、その中で見方が広がったり、対人関係スキルを身につけたりできるようにする。